



平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月8日

上場会社名 タピオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 越智 勝寛
 (氏名) 谷川 繁
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	11,864	1.1	317	19.2	327	16.9	193	486.8
30年2月期第3四半期	11,736	3.4	266	17.7	280	19.6	32	84.9

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 189百万円 (155.6%) 30年2月期第3四半期 74百万円 (60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	28.41	
30年2月期第3四半期	4.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	9,442	5,736	60.8
30年2月期	9,050	5,751	63.6

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 5,736百万円 30年2月期 5,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		30.00	30.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,989	3.7	642	36.5	654	32.6	383	246.9	56.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	6,813,880 株	30年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	1,862 株	30年2月期	1,826 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	6,812,048 株	30年2月期3Q	6,812,054 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年11月30日）における国内経済におきましては、国内企業の継続的な企業収益の拡大を背景とした雇用・所得環境の改善や積極的な設備投資等により、景気は緩やかな回復傾向が続いています。一方で、米国発の貿易摩擦の長期化やそれに伴う中国景気の減速懸念、度重なる自然災害の発生等による経済活動への影響などにより、依然として景気の不透明感は続いております。

国内衣料品販売におきましては、消費者の間では節約志向の意識が根強く残っているものの、価値ある商品を厳選して購入する傾向は強まってきており、デフレ脱却の兆しが見え始めています。そうした中で、お客様に選ばれるブランドになるためには、企画力や品質・素材等で差別化を図った高付加価値商品の市場投入や、EC・SNSツール等を用いた一人一人に適した商品提案を行っていくことが求められています。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に变化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

また、2017年10月からは全店舗を対象として、ブランドの枠を超えて全取扱商品の提案を可能とするタブレット端末「Tabio SEARCH」を店頭を導入し、オムニチャネル戦略を本格的にスタートさせて参りました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、企画部門・生産現場・店頭間をコミュニケーションツール等を用いて緊密に連携させることにより、顧客ニーズを的確に商品化し、迅速に市場投入できる体制の強化を進めて参りました。また「Tabio SEARCH」を活用した店舗受取サービスの更なる強化や好立地・高効率小型店舗の展開に向けたテスト出店を行って参りました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、よりハイセンスな立地での『タビオ』店舗の出店や、働く女性に向けた高品質で機能性に優れた商品の企画・提案を行うことにより、『靴下屋』ブランドとの差別化を図ると共に、店舗の収益力向上を意識した店舗運営を進めて参りました。また「紳士靴下事業」ではメンズ単独店によるストアブランドの確立や、『靴下屋』・『タビオ』店舗における複合店の強化、さらには新たな販路開拓に向けた取り組みを進めていくことにより、メンズマーケットの拡大に努めて参りました。

海外展開におきましては、欧州店舗の運営と収益基盤の強化に継続的に取り組むと共に、2017年10月に開設した北米向けECサイトでは、SNS等を活用した販促活動に加え、北米限定商品のテスト販売や現地イベントでの催事販売を行うなど、Tabioブランドの認知度向上に向け尽力して参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店1店舗、直営店8店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店8店舗、直営店4店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店91店舗、直営店181店舗（海外4店舗を含む）、合計272店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,864百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は317百万円（前年同期比19.2%増）、経常利益は327百万円（前年同期比16.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は193百万円（前年同期比486.8%増）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金524百万円、流動資産のその他69百万円、建物及び構築物65百万円減少しましたが、売掛金604百万円、商品394百万円、有形固定資産のその他56百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて391百万円増加し、9,442百万円となりました。

負債については、電子記録債務242百万円、短期借入金122百万円、賞与引当金96百万円、長期借入金93百万円減少しましたが、買掛金570百万円、流動負債のその他274百万円、固定負債のその他44百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて406百万円増加し、3,705百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて15百万円減少し、5,736百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.6%から60.8%に減少しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期における通期の業績予想については、平成30年4月10日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,161,978	2,637,571
売掛金	689,320	1,294,110
商品	653,424	1,048,150
貯蔵品	453	354
その他	200,880	131,555
貸倒引当金	△669	△4,304
流動資産合計	4,705,387	5,107,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	868,646	803,096
土地	1,182,654	1,182,654
その他（純額）	301,689	358,375
有形固定資産合計	2,352,990	2,344,126
無形固定資産	439,380	455,552
投資その他の資産		
差入保証金	1,391,597	1,385,362
その他	161,213	149,544
投資その他の資産合計	1,552,810	1,534,907
固定資産合計	4,345,182	4,334,586
資産合計	9,050,569	9,442,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	554,912	1,125,878
電子記録債務	719,753	477,630
短期借入金	246,800	124,800
未払法人税等	16,882	49,441
賞与引当金	128,379	31,826
ポイント引当金	17,474	23,073
資産除去債務	1,106	8,415
その他	614,745	889,083
流動負債合計	2,300,053	2,730,149
固定負債		
長期借入金	188,000	94,400
退職給付に係る負債	196,699	221,843
資産除去債務	300,728	301,125
その他	313,315	357,781
固定負債合計	998,743	975,151
負債合計	3,298,796	3,705,300

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	5,231,523	5,220,677
自己株式	△1,000	△1,044
株主資本合計	5,737,736	5,726,846
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14,036	9,877
その他の包括利益累計額合計	14,036	9,877
純資産合計	5,751,773	5,736,723
負債純資産合計	9,050,569	9,442,023

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成29年3月1日 至平成29年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成30年3月1日 至平成30年11月30日）
売上高	11,736,615	11,864,180
売上原価	5,134,819	5,137,750
売上総利益	6,601,796	6,726,429
販売費及び一般管理費	6,335,078	6,408,465
営業利益	266,718	317,964
営業外収益		
受取利息	122	30
受取配当金	37	-
仕入割引	8,979	8,711
為替差益	2,664	-
受取手数料	450	669
その他	5,180	5,734
営業外収益合計	17,433	15,146
営業外費用		
支払利息	3,263	2,748
為替差損	-	1,995
その他	586	593
営業外費用合計	3,850	5,338
経常利益	280,301	327,772
特別損失		
固定資産除却損	4,682	11,653
関係会社清算損	40,777	-
減損損失	13,268	16,800
特別損失合計	58,728	28,453
税金等調整前四半期純利益	221,572	299,318
法人税、住民税及び事業税	33,201	54,928
法人税等調整額	155,390	50,874
法人税等合計	188,591	105,803
四半期純利益	32,980	193,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,980	193,515

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	32,980	193,515
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	41,112	△4,159
その他の包括利益合計	41,112	△4,159
四半期包括利益	74,093	189,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,093	189,355
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。